

第4回の議論の振り返りと  
今後の学校づくりの議論のまとめについて

## 第4回審議会の振り返り・主なポイント

○ 第3回までの議論を踏まえ、『人とのつながりの中で、自分の生き方を見つける門真のめざす教育』を実現するための学校について整理し、さらに議論を深めた。

### 子どもどうしの横のつながり

子どもどうしの横のつながり、たくさんの子どもどうしの付き合いが大切。いろんな意見や価値観を素直に受け入れられるときに、多くの経験と多様な人と触れ合うことが大事。これから対話的な授業が重視されていく中で、対話の母数が広がるといい。

他の校区の子どもとも交流ができるのも大事。

子ども同士の豊かな横のつながりを創っていく視点も必要。その意味で、同年齢のつながりも重要。言わずもがなのことではあるが、まとめ資料には書ききれていない。

### 学校の枠を超えたつながり

学校という枠を超えたつながり、学校間のつながりも必要。学びの場は、学校のみならず地域でも可能。その中でまたつながりができる。

学校間のつながりも視野に入れておかないと、市域の学校間で差ができてしまう。同じつながりを持てるようなものを創っていく必要がある。

### 地域の中での人のつながり

学校と地域がつながる中で、親どうし、地域の中での人どうしがつながっていくということを強調してもいい。

地域と学校とが一緒に行う活動も大事だし、具体の良い取組は、他の校区へも広がってほしい。

縦、横、将来の自分とのつながりとして、議論をまとめられているが、横のつながりとして、さらに、同級生の子どもどうしのつながり、学校の枠を超えたつながり、地域や保護者の人のつながりという視点も大事。合わせて記載してはどうか。

前半の議論のまとめとして、学校づくりの視点だけではなく、もう少し大きな視点として、教育目標にあたる部分から、手段、手法としての学校づくりと、体系付けて整理してはどうか。

今回の議論を踏まえて修正したものを前半の議論のまとめとしたい。これを、門真のこれからの学校づくりの方向性を考えていく一つの手がかりとして活用していくこととして、後半の議論に移りたい。

## 第4回審議会の振り返り・主なポイント

### ○ 学校施設の現状を説明

#### 学校の現状について

大規模改修した学校と比較すると、学校施設の老朽化は進んでいると感じる。子どもの安全の面からも心配になる。

トイレについては、汚い、暗い、臭いなどの理由で、子どもが行きたがらない。衛生面や和式トイレなど、課題がある。生活様式が大きく変わっている中、学校も変えていく必要がある。

廊下の幅が狭い、木枠のサッシなど昔ながらの造りのままになっている。造りや雰囲気が、子どもたちが通いたいと思える学校になっているか。

ちょっと改修してもイタチごっこなので、一気にやれたらいいが、費用のかかる話なので難しいかと思う。

老朽化が進み、修繕が必要な個所が多くある。特にトイレについては短期的な対応が求められるのではないか。昔ながらの造りで主体的、対話的といった新しい教育に適しているのか課題がある。

ハード面として、新しい学習形態に適応した学校、安全・安心に生活できる学校へと変えていかないといけないのではないか。世の中には、既に様々な学校づくりの事例がある。これらを参考にして、門真としてどういう学校にしたいかが大事である。

費用が掛かる話ではあるが、この審議会では仕方ないと諦めるのではなく、門真の学校の未来に向けて、議論をしていきたい。門真の学校として、短期的に何がいるか、中期的、長期的なビジョンを議論して、できるところからやるという進め方にしたい。

#### これからの門真の学校づくりに向けて

新築時のきれいな状態に戻せばよいというものではない。これからの新しい教育で、アクティブラーニングや主体的に学ぶとなった時に、学びの場として様々な空間が必要になる。教室と廊下だけのこれまでの学校の造りでは、こういった対応に限界があるのではないか。

学校が変わるのは不安も大きくあると思うが、キレイになると、ワクワクするし、通うのが安心で、楽しくなる面もあると思う。

他市では、いろいろな工夫をしている学校がたくさんある。失敗も含めてうまく取り入れていけばよい学校ができると思う。

門真の教育をどうしていくのかということ考えた時に、どういう学校の姿に近づきたいか。限界はあると思うが、仕方ないとあきらめるのではなく、門真のめざす教育にどうやって近づけるかを煮詰めていくことが大事ではないか。

## 学校づくりについての議論のまとめ

### 人と人とのつながり

#### 縦のつながりを創る学校づくり

義務教育学校も含めた小中一貫校の視点を積極的に取り入れ、  
**異年齢の関係の中で子どもが育っていくような学校**

#### 横のつながりを創る学校づくり

同級生の多様な仲間とともに、  
**人とつながる力を身に付けることができる学校**  
保護者や地域の人、地域と学校がつながり、  
**地域と共に子どもの学びや成長を見守る学校**

#### 将来の自分とのつながりを創る学校づくり

自分の将来の姿をイメージしながら学びをつなげ、  
**自立に向けて育っていくことができる学校**

### 新たな時代に対応

#### めざす教育の軸を踏まえた学校づくり

めざす子ども像を共有し、  
**門真の子どもたち全体の底上げにつなげる学校**

#### 新しい教育内容に対応した学校づくり

主体的で対話的な学びといった新しい学習形態に適応した、  
**学ぶ意欲を高める様々な空間や機能のある学校**

#### 地域に開かれた学校づくり

地域資源の活用や、学校を拠点とした地域活動など、  
**地域の人が行きかう、地域と共にある学校**

### 安全・安心

#### みんなが楽しく過ごせる学校づくり

子どもたち、地域の人、みんなが安心して多様な活動ができる  
**快適でワクワクする学校**

## これからの新しい学校づくりの方向性

# (将来の自立をめざして)自分の生き方を見つける教育

### 人とのつながりの中で 学び・育つ学校づくり

#### 縦のつながりを創る学校づくり

義務教育学校も含めた小中一貫校の視点を積極的に取り入れ、  
**異年齢の関係の中で子どもが育っていく学校**

#### 横のつながりを創る学校づくり

同級生の多様な仲間とともに、  
**人とつながる力を身に付けることができる学校**  
保護者や地域の人、地域と学校がつながり、  
**地域と共に子どもの学びや成長を見守る学校**

#### 将来の自分とのつながりを創る学校づくり

自分の将来の姿をイメージしながら学びをつなげ、  
**自立に向けて育っていくことができる学校**

### 新たな時代に 対応した学校づくり

#### めざす教育の軸を踏まえた学校づくり

めざす子ども像を共有し、  
**門真の子どもたち全体の底上げにつなげる学校**

#### 新しい教育内容に対応した学校づくり

主体的で対話的な学びといった新しい学習形態に適応した、  
**学ぶ意欲を高める様々な空間や機能のある学校**

#### 地域に関われた学校づくり

地域資源の活用や、学校を拠点とした地域活動など、  
**地域の人が行きかう、地域と共にある学校**

## 安全・安心

#### 人がつながり、みんなが楽しく過ごせる学校づくり

子どもたち、地域の人、みんなが安心して多様な活動ができる  
**快適でワクワクする学校**

## 第4回審議会の振り返り・主なポイント

- 前半の議論を踏まえて、後半の議論に入るにあたり、学校規模や今後の推計について資料の説明を行った。

### 今後の適正配置の議論について

人とのつながり、地域と学校との関わり、新しい学習内容への対応、施設の快適化など、これからの門真の新しい学校づくりについて方向性が見えてきたのではないかな。

これを踏まえて、子どもたちの数の推移、限られた予算の中で、学校の配置や校区の再編、義務教育学校も含めた小中一貫校を新しく創ることも含めて、どのように実現していくかを議論していく。

人とのつながりを創る、また、地域と共にみんなで学校を創っていく、みんなで子どもたちを見守ることが大事であることを考えると、校区が広がると地域のつながりも広がる。校区の広さは、具体的に議論していく上で、一つの視点になりうるのではないかな。

学校の統合は一つの考え方ではあるが、地域は学校に対して愛着もあり、地域の拠点ともなっているため、簡単ではない。多様なつながりの中で、将来の自立をめざす教育実現できるよう、門真の未来にとって良い方向に進めていく議論をしていきたい。